

令和6年度 日向市簡易水道事業会計決算の概要について

1. 総括

日向市東郷町における簡易水道施設は、昭和49年の山陰地区簡易水道事業の給水開始など、地域の発展とともに住民の公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与してきました。

簡易水道事業は事業規模が小さく経営基盤が脆弱ですが、水道事業と同様に給水人口や給水収益が減少しており、施設の老朽化対策や統廃合の検討に伴う大規模な施設更新が見込まれることから、財源の確保などの経営健全化に向けた取り組みが重要な課題となっています。

その課題解決に向けて、令和4年度には水道事業とあわせて料金を改定しましたが、市民生活や企業活動への急激な負担増を抑制するための経過措置として二段階での改定となっており、令和6年7月に第二段階目の料金体系に移行しました。今後数年間は本年度と同程度の収入が見込まれますが、長期的には人口減少により料金収入が減少すると予想されます。

また、昨年度に山陰（第1）水源系の3地区の一部において発生しました水道水中に微細な浮遊物が混入した事象については、水道水源である井戸内への鉄細菌の流入が確認され、仮設ろ過装置を設置し原水のろ過を開始していましたが、令和6年12月に可搬型急速ろ過装置設置工事が完了し、清浄な水道水の安定した供給が可能となりました。

今後も計画的な事業実施に努め、安定供給と経営の健全化に努めていく必要があります。

2. 業務状況

令和6年度の簡易水道給水人口は2,392人で前年度より92人減少し、給水戸数は1,045戸で前年度より36戸減少しています。また、給水区域内普及率は99.60%で前年度と同様の数値となっています。

次に、年間総配水量は416,122m³で前年度より8,237m³減少し、年間総有収水量も357,699m³で前年度より7,420m³減少しています。また、有収率は85.96%で前年度を0.08ポイント下回りました。

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率(%)
1. 給水人口(人)	2,392	2,484	△92	△3.7
2. 給水戸数(戸)	1,045	1,081	△36	△3.3
3. 年間総配水量(m ³)	416,122	424,359	△8,237	△1.9
4. 1ヶ月平均配水量(m ³)	34,677	35,363	△686	△1.9
5. 年間総有収水量(m ³)	357,699	365,119	△7,420	△2.0
6. 1ヶ月平均有収水量(m ³)	29,808	30,426	△618	△2.0
7. 有収率(%)	85.96	86.04	△0.08	-

3. 財政状況

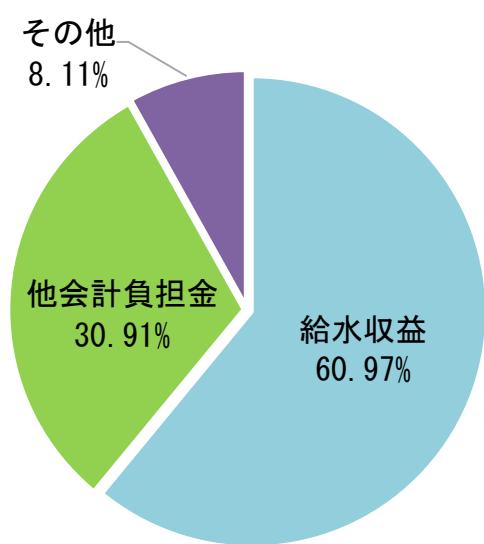
本年度の収益的収支（税抜）において、収益は102,662,871円で前年度より81,391,088円減少し、費用も124,610,041円で前年度より13,263,508円減少しました。今年度の収支差引は、前年度より68,127,580円減少し、当年度純損失が21,947,170円となりました。

収益では、料金改定により給水収益が1,627,600円増加しましたが、他会計補助金が74,000,000円皆減となりました。これは、他会計補助金を山陰地区の浮遊物対策事業の財源として前年度に受け入れたことによるものです。費用では、営業費用が6,109,671円減少しています。これは、山陰地区の浮遊物流入対策事業が完了したことにより、当該事業に係る委託料や賃借料が減少したことによるものです。

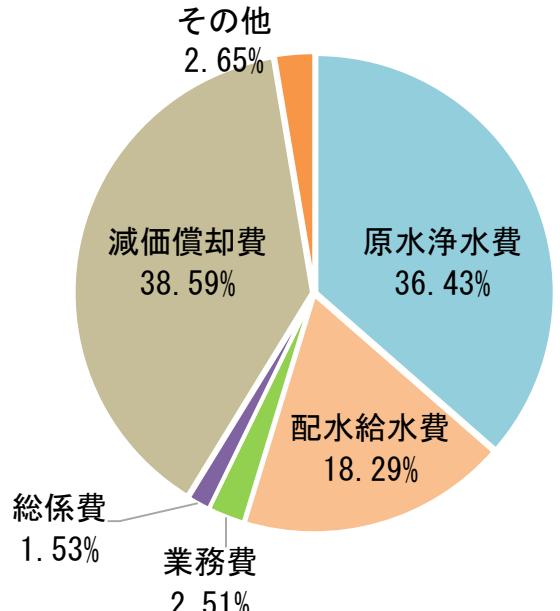
(単位：円、%)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率
簡易水道事業収益	102,662,871	184,053,959	△81,391,088	△44.2
営業収益	62,972,430	61,452,830	1,519,600	2.5
営業外収益	39,690,441	122,601,129	△82,910,688	△67.6
特別利益	0	0	0	-
簡易水道事業費用	124,610,041	137,873,549	△13,263,508	△9.6
営業費用	121,417,178	127,526,849	△6,109,671	△4.8
営業外費用	3,182,113	10,330,500	△7,148,387	△69.2
特別損失	10,750	16,200	△5,450	△33.6
純利益（収益－費用）	△21,947,170	46,180,410	△68,127,580	-

収益的収入 構成割合



収益的支出 構成割合

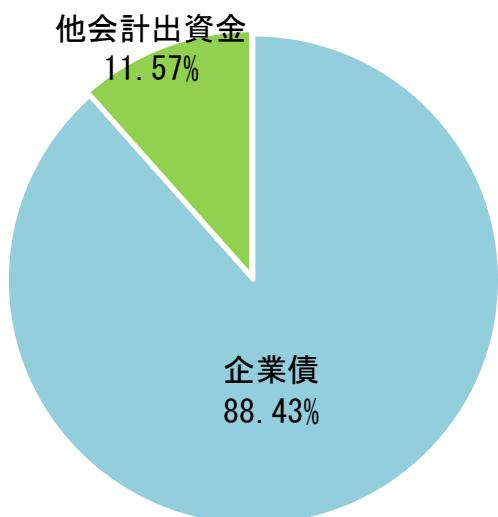


資本的収支（税込）においては、収入額 179,463,000 円に対し支出額は 204,920,353 円で、差引き収支不足額は 25,457,353 円となり、不足額は損益勘定留保資金等で補てんしています。

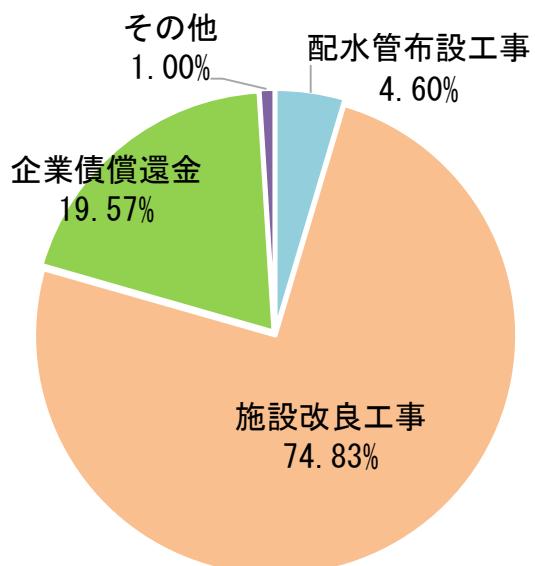
(単位 : 円、 %)

区分	令和 6 年度(A)	令和 5 年度(B)	比較 (A) - (B)	増減率
資本的収入	179,463,000	29,042,000	150,421,000	517.9
企業債	158,700,000	8,200,000	150,500,000	1,835.4
他会計出資金	20,763,000	20,842,000	△79,000	△0.4
工事負担金	0	0	0	-
国庫補助金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
固定資産売却代	0	0	0	-
資本的支出	204,920,353	55,910,426	149,009,927	266.5
建設改良費	164,818,640	15,506,320	149,312,320	962.9
企業債償還金	40,101,713	40,404,106	△302,393	△0.7
投資その他の資産	0	0	0	-
差引	△25,457,353	△26,868,426	-	-

資本的収入 構成割合



資本的支出 構成割合



4. 企業債の状況

(単位：円)

区分	前年度末残高	本年度借入高	本年度償還高	本年度末残高
簡易水道事業	273,396,633	158,700,000	40,101,713	391,994,920

